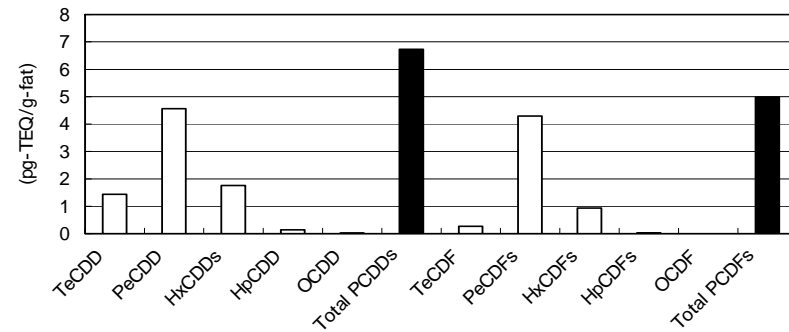
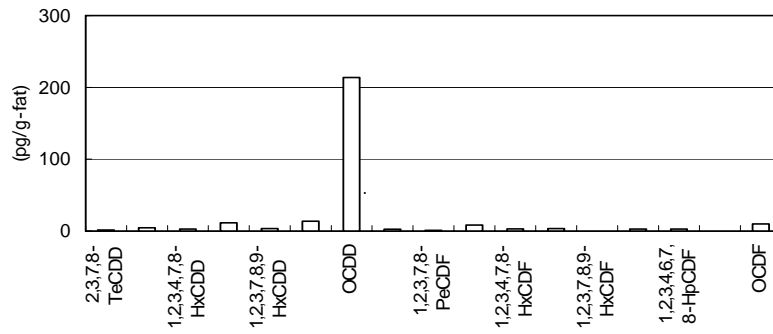


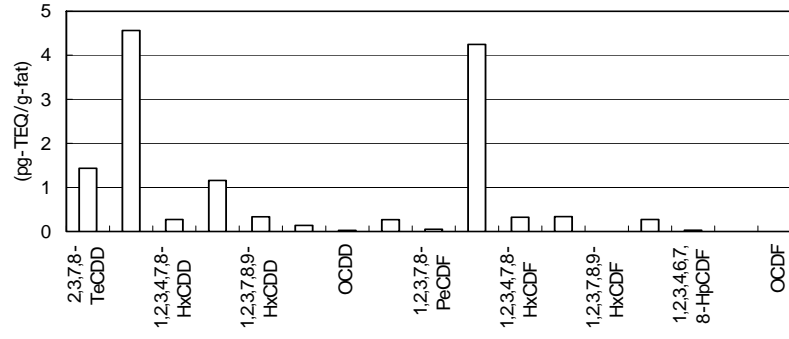
ダイオキシン類同族体組成 (実測濃度)



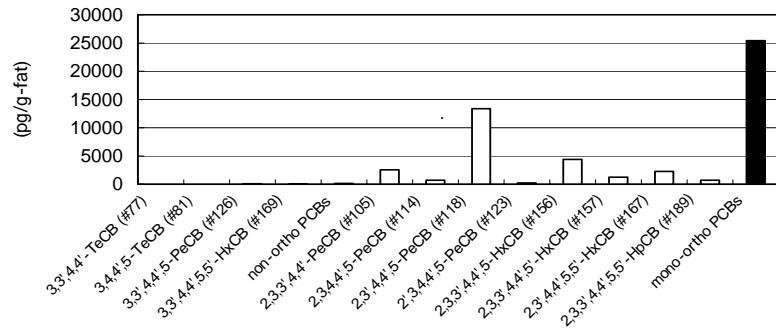
ダイオキシン類同族体組成 (毒性等量)



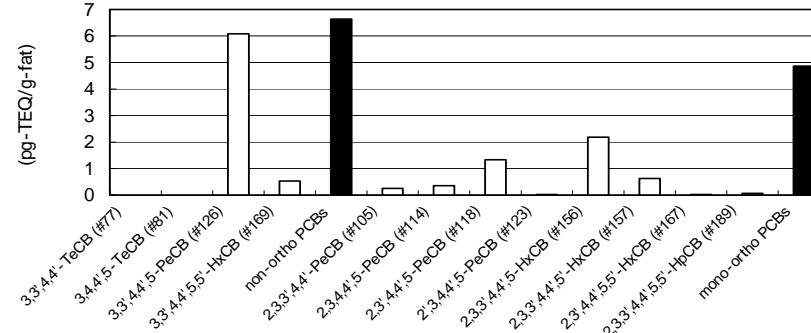
ダイオキシン類異性体組成 (実測濃度)



ダイオキシン類異性体組成 (毒性等量)

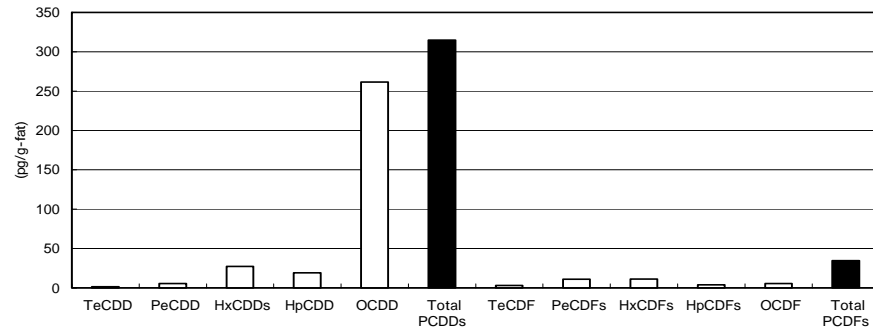


コプラナ - PCBs異性体組成 (実測濃度)

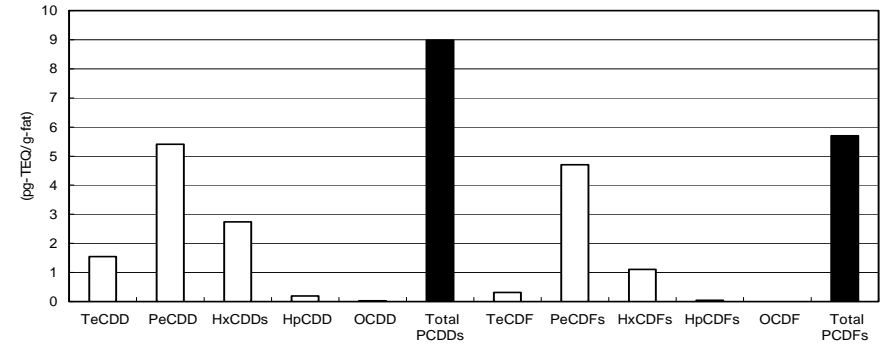


コプラナ - PCBs異性体組成 (毒性等量)

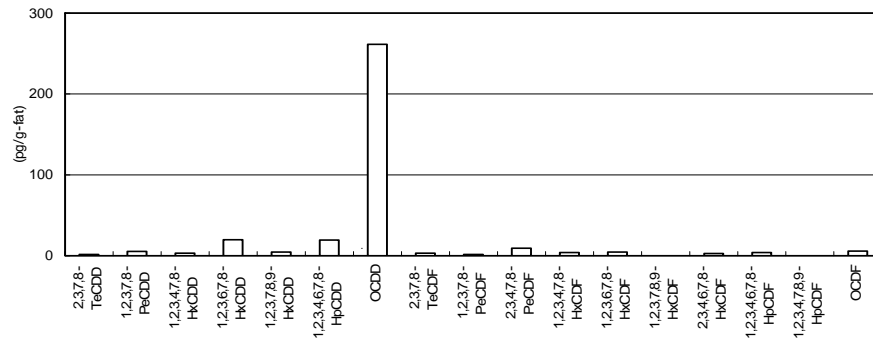
図 2.3.8 血液中ダイオキシン類の異性体・同族体分布図 (九州沖縄)



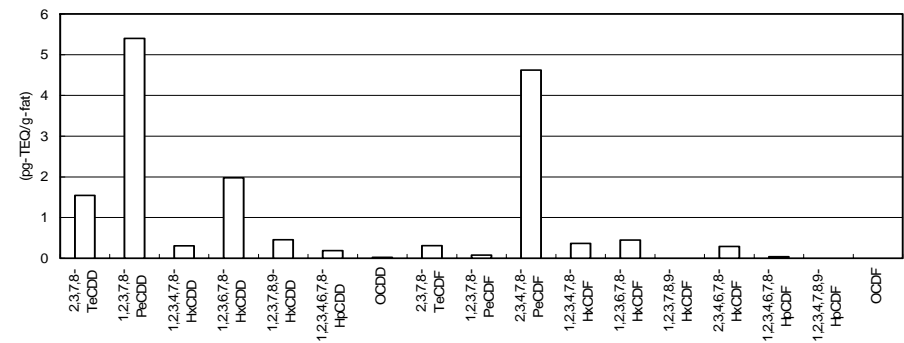
ダイオキシン類同族体組成 (実測濃度)



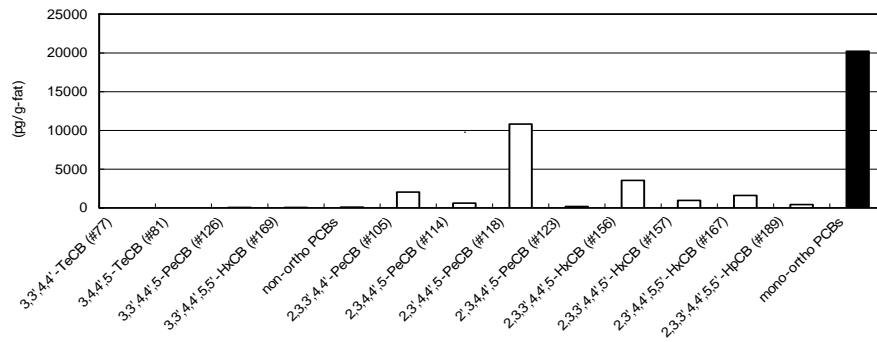
ダイオキシン類同族体組成 (毒性等量)



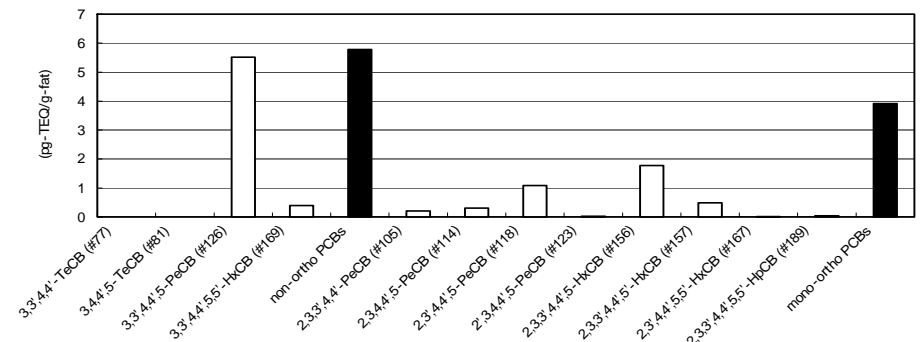
ダイオキシン類異性体組成 (実測濃度)



ダイオキシン類異性体組成 (毒性等量)

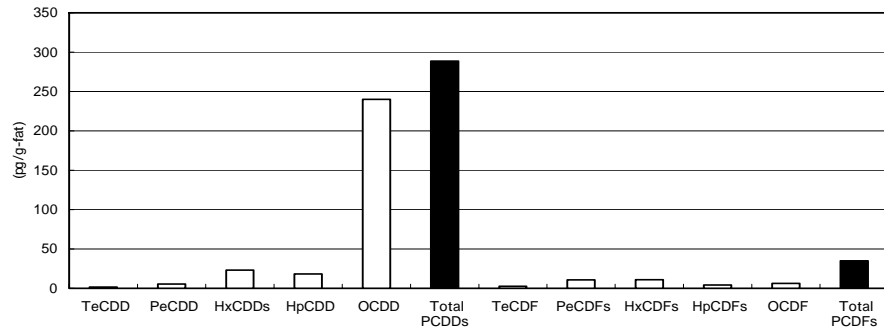


コプラナ - PCBs異性体組成 (実測濃度)

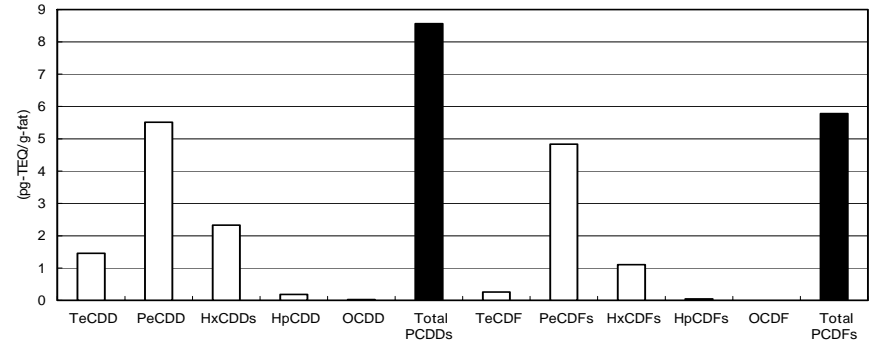


コプラナ - PCBs異性体組成 (毒性等量)

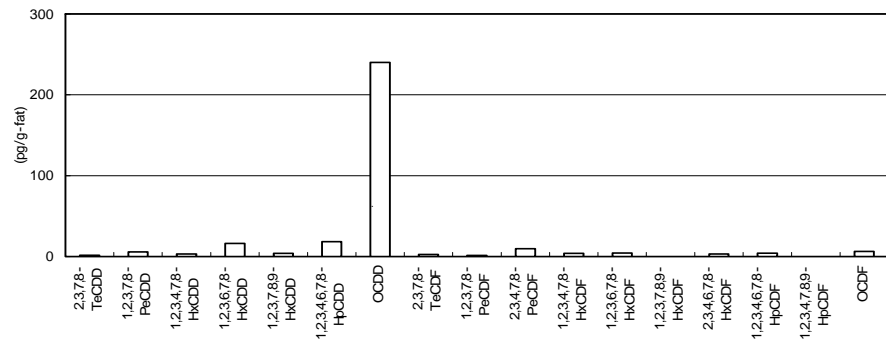
図 2.3.9 血液中ダイオキシン類の異性体・同族体分布図 (都市地区)



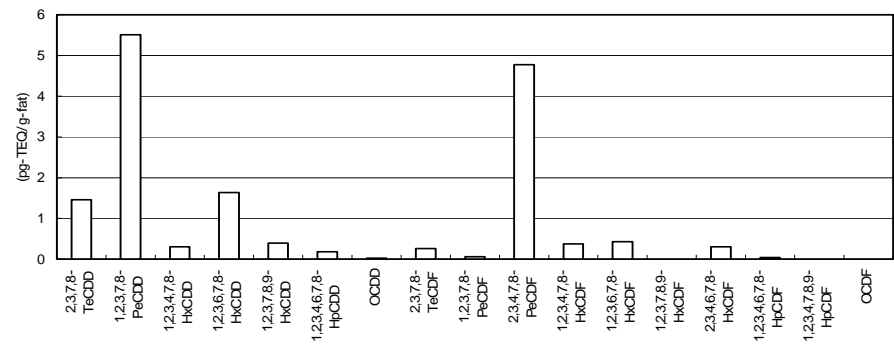
ダイオキシン類同族体組成 (実測濃度)



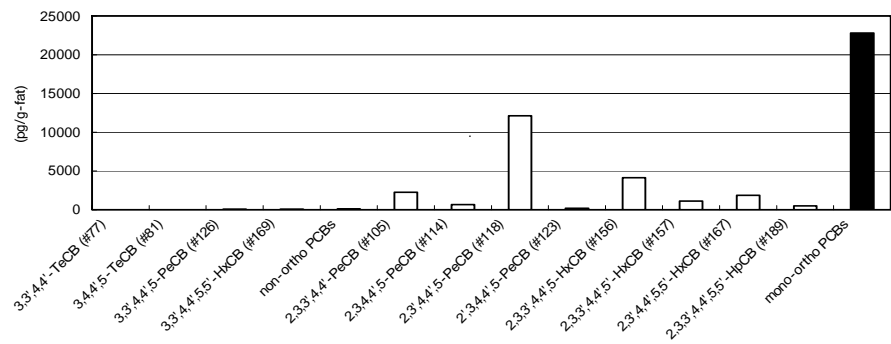
ダイオキシン類同族体組成 (毒性等量)



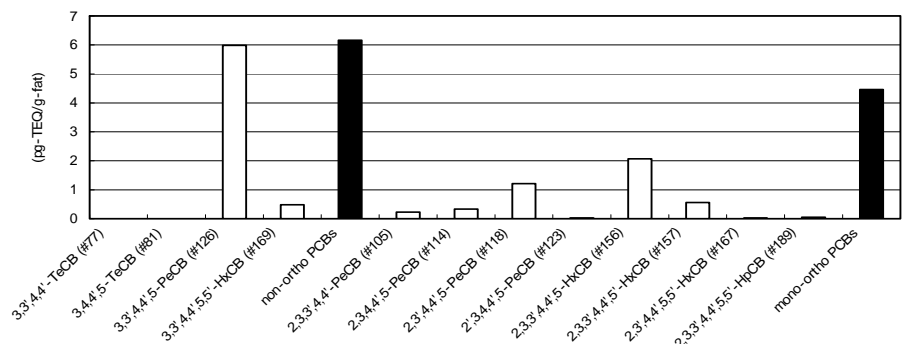
ダイオキシン類異性体組成 (実測濃度)



ダイオキシン類異性体組成 (毒性等量)

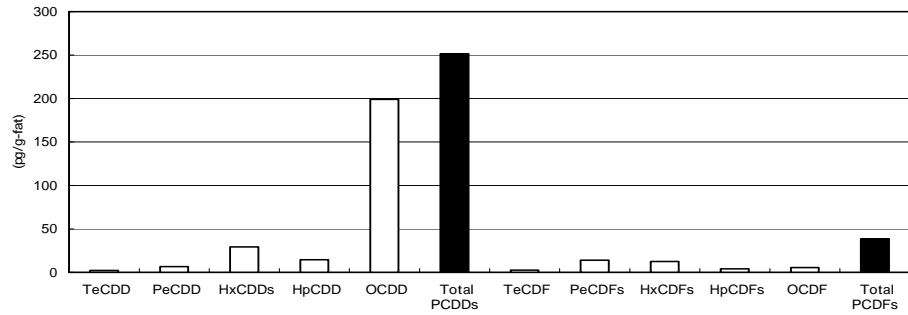


コプラナ - PCBs異性体組成 (実測濃度)

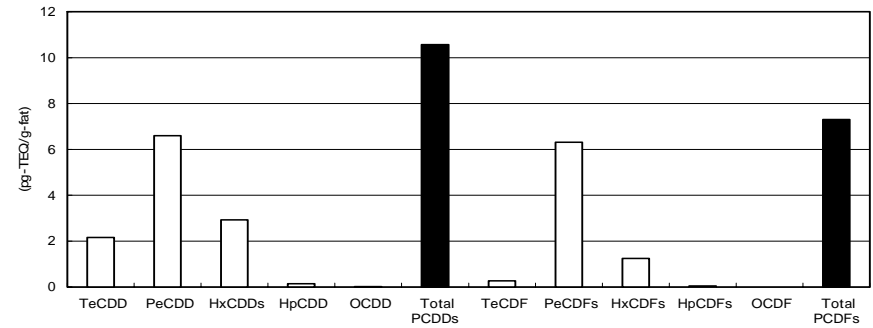


コプラナ - PCBs異性体組成 (毒性等量)

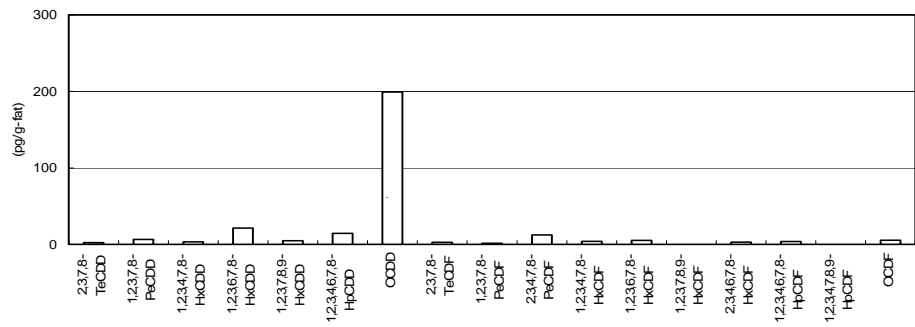
図 2.3.10 血液中ダイオキシン類の異性体・同族体分布図 (農村地区)



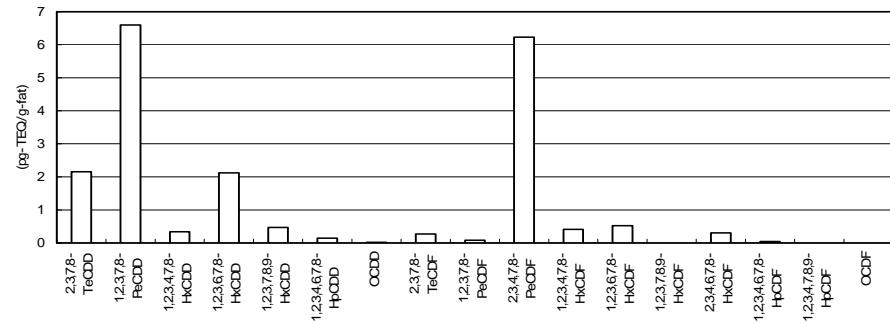
ダイオキシン類同族体組成 (実測濃度)



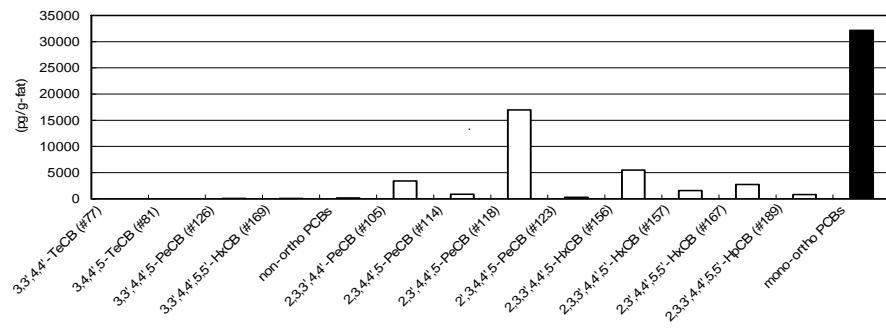
ダイオキシン類同族体組成 (毒性等量)



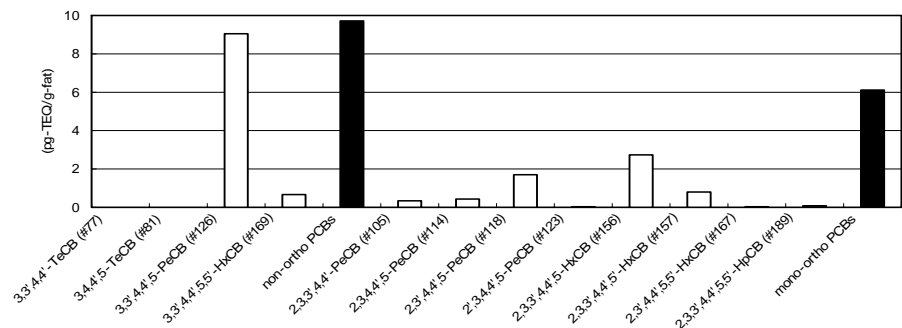
ダイオキシン類異性体組成 (実測濃度)



ダイオキシン類異性体組成 (毒性等量)



コプラナ - PCBs異性体組成 (実測濃度)



コプラナ - PCBs異性体組成 (毒性等量)

図 2.3.11 血液中ダイオキシン類の異性体・同族体分布図 (漁村地区)

### 2.3.2 年齢との関係

図 2.3.12に血液中ダイオキシン類濃度と年齢との関係を示す。

年齢が高くなるごとに PCDDs+PCDFs、Co-PCBs 及び PCDDs+PCDFs+Co-PCBs と濃度が高くなる傾向を示した。

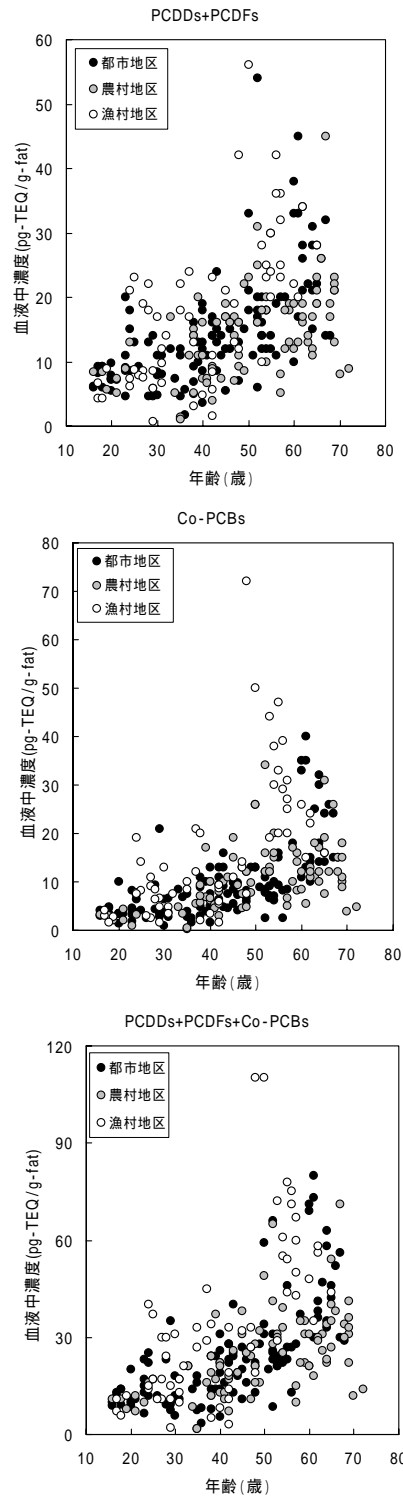


図 2.3.12 血液中ダイオキシン類と年齢の関係

### 2.3.3 既存調査との比較

環境省や厚生労働省で行われた一般環境の住民に対する血液中ダイオキシン類の調査結果と本調査結果の比較を表 2.3.5に示す。

本調査とは調査対象者の条件（年齢等）及び分析方法が違うため単純に比較することは難しいが、継続調査の章で述べるように、全国調査の分析方法である 10ml 法は、既存の 50ml 法（表中の環境庁調査は 50ml 法で行われている）よりも高い値であったため、これらを考慮すると、既存調査とほぼ同程度の結果であると考えられる。

表 2.3.5 既存調査の血液中ダイオキシン類濃度レベル（一般環境地域）

調査主体	環境庁（現環境省）				厚生省（現厚生労働省）			環境省
	A	B	C	D	H	I	J	
地域名								全国5地域 14地区
調査名	1	2	3	4	5	6	7	本調査
調査年	H10年度	H10年度	H11年度	H12年度	H9年度	H9年度	H10年度	H14年度
対象者数	32	234	47	20	39	13	80	259
年齢								
平均（歳）	51	44	56	56				44.4
範囲	38～69	20～69	40～68	35～71	20～73	21～51	30～40代	16～72
PCDD+PCDF								
平均値	19	11	16	18	19.7	17.9	17.5	15
標準偏差	11	5.7	8.6	7.5	7.3	20.7	9.4	9.0
中央値	18	10	14	17			15.5	14
範囲	7.4～64	0.91～33	6.3～57	8.9～34				0.61～56
Co-PCB					注2		注2	
平均値	11	7.3	12	13	11		6.9	11
標準偏差	5.8	5.3	6.1	7.1			4.1	9.7
中央値	9	5.8	11	12			5.9	8.8
範囲	3.9～27	0.33～32	3.4～34	3.2～33				0.33～72
PCDD+PCDF Co-PCB								
平均値	30	18	28	31	30.9		24.4	27
標準偏差	15	10	13	14	11.4		11.9	18
中央値	27	17	28	27			21.7	23
範囲	11～78	1.3～53	10～68	12～67			4.8～60.3	1.6～110

調査1：環境庁 平成10年度ダイオキシン類長期大気曝露影響調査

調査2：環境庁 平成10年度ダイオキシン類精密暴露調査

調査3：環境庁 平成11年度ダイオキシン類精密暴露調査

調査4：環境省 平成12年度ダイオキシン類精密暴露調査

調査5：厚生省 平成9年度厚生科学研究「ダイオキシン類の人体曝露に関する調査」（計算にはI-TEFを使用）

調査6：厚生省 平成10年度厚生科学研究「ダイオキシン類のヒト曝露状況の把握と健康影響に関する研究」におけるヒト血液中ダイオキシン類濃度等に関する調査について（中間報告）（計算にはWHOTEF(1998)を使用）

注1：本表のダイオキシン類濃度は、実測濃度が「定量下限値未満（N.D.）」であった場合、異性体の実測濃度を0として計算された値である。

注2：厚生省調査のCo-PCBは、3,3',4,4'-TeCB、3,3',4,4',5-PeCB、3,3',4,4',5,5'-HxCBの3種である。